授業科目	子どもの運動あそび(2 年制コース)					実務家教員担当科目	-
単位	1	履修	選択	開講年次	1	開講時期	前期
担当教員	篠木　賢一						
授業概要	幼児の運動あそびの果たしている役割を理解し、運動の基本的な動作（歩く・走る・跳ぶ・投げる・蹴るなど）を取り入れた運動あそびを実践し、運動の発達に応じた安全管理について解説する。						
授業形態	演習			授業方法	実際に子どもの運動あそびを実施し、グループワークやディスカッションを通して理解を深める。		

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	1. 幼児体育の果たしている意義と役割を理解し、運動あそびを実践できる。 2. 子どもの運動発達を理解し、年齢に応じたあそびを実践できる。 3. 運動発達に応じた安全管理について、基本的な考え方を身につけることができる。 幼児体育の意義と役割を理解し、子どもの発達に応じた運動あそびを実践できる。子どもの運動発達に応じた基本的な安全管理方法を身につけることができる。
理想的レベル	標準的なレベルに加え、幼児体育の意義と役割を理解し、子どもの発達に応じた運動あそびを、見本を示しながら実践できる。子どもの運動発達に応じた基本的な安全管理方法を身につけ、適切な補助ができる。

評価方法・評価割合		
評価方法	評価割合（数値）	備考
試験		
小テスト		
レポート	10%	
発表（口頭、プレゼンテーション）	10%	実技や補助のテスト
レポート外の提出物	20%	授業記録ノートで評価する
その他	60%	遊具の準備・片付け、授業貢献度で評価する。

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	-	DP2	-	DP3	-	DP4	-	DP5	○	ナンバリング	CH11334J

学習課題（予習・復習）	1 回の学習目安（時間）
授業内容をノートに整理し、様々な運動あそびを調べ記録する。	1

授業計画	
第 1 回	テーマ：オリエンテーション 授業概要について説明し、幼児体育の果たしている意義と役割について理解する。
第 2 回	テーマ：集団での運動あそび 1 仲間づくりや集団での運動あそびを実践する。
第 3 回	テーマ：集団での運動あそび 2 じゃんけんを用いた運動あそびを実践する。
第 4 回	テーマ：集団での運動あそび 3

	鬼ごっこを用いた運動あそびを実践する。
第 5 回	テーマ：手具を用いた運動あそび 1 ボールを用いて「投げる」「蹴る」の運動能力の発達について理解し、運動あそびを実践する。
第 6 回	テーマ：手具を用いた運動あそび 2 フープや輪投げあそびにおいての安全管理について理解し、実践する。
第 7 回	テーマ：身近なものを用いた運動あそび 新聞紙などから製作した用具を用いて運動あそびを実践する。
第 8 回	テーマ：マット運動 前転・後転の補助方法を理解し、実践する。
第 9 回	テーマ：跳び箱 跳び箱の補助方法を理解し、実践する。
第 10 回	テーマ：鉄棒 鉄棒（前回り・逆上がり）の補助方法を理解し、実践する。
第 11 回	テーマ：あそびの創造 様々な運動あそびを創造し、実践する上での安全管理方法を考える。
第 12 回	テーマ：グループ発表 様々な運動あそびの指導方法や安全管理方法をグループで検討し、発表する。
第 13 回	テーマ：体育行事① 様々な運動あそびを取り入れた運動会を創造し、実践する。
第 14 回	テーマ：体育行事② 様々な運動あそびを取り入れた運動会を創造し、実践する。
第 15 回	テーマ：まとめ これまでの授業を振り返り、幼児体育の意義と役割について確認する。
テキスト	なし 適宜関連資料を配布する。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	授業の中で随時紹介する。
課題に対するフィードバックの方法	毎回の授業で、その時・その場で行います。
学生へのメッセージ・コメント	「子どもと健康」は、関係が深い科目です。関連づけて授業に臨んでください。 日ごろから子どもに関する事柄に意識を向け、授業内容と関連させることが望ましい。 学習した内容をノートにまとめ、授業内容への理解を深めてください。 運動あそびを通して、保育者と子どもの 2 つの視点を持ちながら積極的に授業参加してください。